

佐賀県知事 様

住 所 小城市牛津町牛津567-5  
団 体 名 特定非営利活動法人ようこそ小城  
代表者職・氏名 理事長 山口則幸

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和2年5月5日付け県協第266号、令和2年8月17日付け県協第949号、令和2年11月2日付け県協第1441号、および令和3年2月4日付け県協第2072号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	小城市の市民活動支援事業
寄附受入額	3,285,000円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p><b>【市民活動に取り組む当事者間及び公共部門又は民間部門との連携事業】</b></p> <p>1. 小城フットパスクラブとの連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・期間：2020年4月～2021年3月</li><li>・場所・会場(どこで)：小城市内のフットパスコース(全1コース)</li><li>・主催者・参加者(誰が)：(主催)当団体会員・(参加者)一般公募による参加者</li><li>・事業の要旨(何を・どのように実施するか)：小城市内にあるフットパスコースにおいて、当団体会員が参加者をガイドしながらコース内を周遊し、町の魅力を再発見するとともに、当団体会員及び参加者間における交流を図る。また、事業拡大のため佐賀大学経済学部戸田ゼミナールと連携し2つ目以降のコースづくりを行った。</li></ul> <p><b>【地域の環境を守る事業】</b></p> <p>1. ふるさと・夢つむぎネットワークとの連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・期間：2020年4月～2021年3月</li><li>・場所・会場(どこで)：「三里モンテ」(小城市三里地区の山林)を拠点に</li><li>・主催者・参加者(誰が)：(主催)当団体会員、(準会員)地域住民・牛津高校生・西九州大学生・佐賀大学生と連携した。</li><li>・事業の要旨(何を・どのように実施するか)：当団体会員が「三里モンテ」を整備し、現在栽培している梅の剪定・収穫・販売(六次産業化)を行う。また、新たに植栽したオリーブ・ブルーベリー・レモン・柚子等を育てた。また、大人も子供も遊べる場所づくりを作っていく。三里地区を多世代が交流できる場所にするべく再開発を行った。</li></ul> <p><b>【健康増進に関する事業】</b></p> <p>1. ヨガ事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・期間：2020年4月～2021年3月</li><li>・場所・会場(どこで)：ゆめぷらっと小城</li><li>・主催者・参加者(誰が)：(主催)当団体会員・(参加者)一般公募による参加者</li><li>・事業の要旨(何を・どのように実施するか)：毎週土曜日(朝の時間で開催)、毎回1時間のヨガ教室を開催し、参加者の健康増進と交流を図った。</li></ul> <p><b>【ICTの普及に関する事業】</b></p> <p>1. パソコン事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・期間：2020年4月～2021年3月</li><li>・場所・会場(どこで)：ゆめぷらっと小城</li><li>・主催者・参加者(誰が)：(主催)当団体、パソコン専任講師を依頼・(参加者)一般公募に</li></ul>	

よる参加者

- ・事業の要旨（何を・どのように実施するか）：月に2回（主に第1、第3金曜日）、初心者から上級者を対象に、ワード及びエクセルの操作方法を丁寧に教える講座を実施した。修理にも対応した。

## 2. スマホ教室

NTTドコモと協働で月6～8回の勉強会を開催する。ドコモショップより職員2名を派遣してもらい参加者のお困りごと解決した。

### 【地域コミュニティづくりに関する事業】

小城ファシリテーション研究会との連携事業

- ・期間：2020年4月～2021年3月
- ・場所・会場（どこで）：ゆめぷらっと小城
- ・主催者・参加者（誰が）：（主催）当団体会員・（参加者）一般公募による参加者
- ・事業の要旨（何を・どのように実施するか）：当団体会員が依頼を受けた団体の会議に参加し、会議を円滑に進めるためにファシリテーションを行った。月に1回会合を開き、スケジュール調整や講師を招いた勉強会を開催し、会員間の定期的な交流及び能力向上を図った。

### 【地域福祉に関する事業】

「にじいろぽけっと」との連携事業

- ・期間：2020年9月～2021年3月
- ・場所・会場（どこで）：ゆめぷらっと小城
- ・この団体はNPO法人よろこそ小城指導の下、9月に「子ども宅食事業」として立ち上げた。
- ・主催者・参加者（誰が）：（主催）当団体会員
- ・参加者：生活困窮子どもとその家族を募集し、宅食に当った。
- ・事業の要旨（何を・どのように実施するか）：毎月1回、応募のあった家庭（6所帯）に市民から集めた商品（お米や文房具など）を配達した。  
最初は三日月小学校、三日月中学校生を対象に募集をかけた。

## 事業実施の成果・効果（見込み）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

- ・ 小城フットパスクラブとの連携事業により、市内の地域資源を活用できるとともに、当団体会員が市外参加者との交流を通じてこれまで着目されにくかった町の魅力を再発見できたり、フットパス事業参加者が2割増加した。
- ・ ふるさと・夢つむぎネットワークとの連携事業により、耕作放棄地の2割の整備が進み、多世代間交流を前年度1割活性化し、小城市の梅林ならではの商品開発、また、新たに植栽によりさらに1割の開墾が進んだ。
- ・ ヨガ事業により、参加者の5割の健康増進が図られた。
- ・ パソコン事業により、参加者の3割がワード・エクセルを自在に使用できるようになり、自らで文書や資料を作成できるようになった。また、スマホ教室の開催でSNSの普及を5割増につながった。
- ・ 小城ファシリテーション研究会との連携事業により、依頼を受けた団体の平均会議時間の2割が短縮され、出席者の8割からファシリテーションに対して80%以上の満足度が得られた。
- ・ 「にじいろぽけっと」との連携事業により、恵まれない子どもたちに生活必需品を提供できる。提供先も2倍に増えた。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		小城市の市民活動支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	3,285,000	第1回交付 38,000円
			第2回交付 : 274,500円
			第3回交付 : 472,500円
			第4回交付 : 2,500,000円
		収入 計	3,285,000
支 出	謝金	150,000	
	旅費	100,000	
	印刷製本費	150,000	
	消耗品費	550,000	
	使用料・賃借料	70,000	
	人件費	975,000	
	返礼品等の調達に係る費用	900,000	返礼品調達費 (寄附額の3割以下)
	返礼品等の送付に係る費用	50,000	返礼品梱包及び送料
	広報に係る費用	20,000	ふるさと納税カタログ作成費等
	事務に係る費用	320,000	「ふるさぽさが」「竹内氏」への業務委託費 (寄附額の各1割)
		支出 計	3,285,000

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。  
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。